

白百合

夏は逃けども戦場に
白百合の花白ふなり
清き白衣の赤十字
姿やさしく白ふなり

黄谷野戦病院の
ベットに呻く兵を
弟のごとく慰めて
巻く縫帯に血は滲む

海ゆかば

うみゆかば
やまゆかば
おほぎみの
みづくかばね
くさむすかばね
へにこそしなめ
かへりみはせじ

母の歌

ごらんよ坊や あのを海を
沖は朝風 お陽さまよ
坊や海の子 すくすくと
潮の息吹で 育つはね
ごらんよ坊や あのを山を
峰は白雲 あをぞらよ
坊や山の子 手を振って
今にあの峰 登るわね

千人針

サトウ・ハチロー

一、橋のたもとに 町角に
並木の路に停車場に
千人針の人の数
心をこめて運ぶ針

二、とび行く號外鈴の音に
胸はわきたつひきしまる
どうぞひとつと兄のため
背の君のため叔父のため